

受念寺 住職継承法要(兼 永代経法要 兼 先代住職一周忌法要)にあたって

受念寺 第二十二世住職 岸上 仁

当岸上山 受念寺は 1506 年 (永正 3 年)、室町時代中期に浄土真宗の教えを聞く聞法道場として創建され、本年で 520 年を迎えます。長きにわたり、お念仏の「僧伽 (サンガ)」として続いてまいりました。「僧伽」とは、仏の教えを聞き、実践する人たちの集まりのことです。実際の生活の中で受けとめれば、どうにもならない境遇にぶつかった苦しみ、最愛の人を失った悲しみ、そのような老病死を始めとする人生の苦悩を抱える私たちが、苦悩を縁として、仏のもとで共に「生きること」を学び、共に“いのち”を確かめる場のことであると言えます。

世の中には、生活の手段や、苦悩を直接的に癒やそうとする手段はいろいろ溢れていますが、どうにもならない苦悩を抱えて生きることを、共に語ることでできる場所はなかなかありません。そして昨今、寺がそういう場所ではなくなってしまった、寺で仏法が聞こえてこない、“いのち”の話ができない、ということを目にします。

受念寺が本来のお寺の姿に立ち返り、お念仏の僧伽として、生きてはたらく場所になるよう、ご門徒の皆さま、有縁の皆さまとともに、歩んで参ります。

御命日を機縁として

児玉暁洋

御命日	無量寿 それは本願無生之生
それは 死者と生者が対面する日	無量寿 それは浄土への生
御命日	それこそが 本当の “いのち”
それは 死者から生きるこの意味が問われる時	聖人の御命日を機縁として
その人が命終わったその日を	われらは 無量寿に目覚める
何故 “いのちの日” と呼ぶのだろう	御命日は 真実の “いのち” に目覚める時
ある時生まれて ある時死ぬ	御命日は だから “おんいのちの日”
死への生	釈尊から親鸞聖人にまで そして
それが本当の “いのち”、なのだろうか	親鸞聖人から私にまで到り届いている念仏の歴史
親鸞聖人の御命日	御命日を機縁として われらは 今 その流れに入る
大無量寿経を真実の教えと定められた親鸞聖人	私にまで伝えられた仏法を子どもたちに伝えていく
動乱の世に九十年の生涯を力強く生き抜かれた親鸞聖人	願力無窮の故に必ず伝わっていく
われらは 親鸞聖人の御命日に集い	死の闇に閉ざされた未来が
帰命無量寿如来と「正信偈」を誦する	今 浄土へと明るく開かれていく

1. これまでの取り組み

これまでの受念寺の取り組みをご紹介します。

1) 受念寺住職のエッセイ (2015 年 9 月から毎月)

金沢崇信学舎の機関誌『崇信』に毎月、医療現場で直面する問題を、仏教を通して確かめるエッセイを連載しております。受念寺住職のブログ (ikiru-manabi.com)でもお読みいただけます。「お医者さんはお坊さん」で検索してみてください。

2) 私設図書館「念々堂」の開設、学習会の開催

2024年4月、私設図書館「念々堂」の開設し、地域の皆さんと垣根のない交流ができる場となっております。また「念々堂」では仏教書の輪読会(第2金曜日)や、仏教の視点から認知症を学ぶ、「医学書では学べない認知症のお話」などの学習会を開催し、門徒の皆さまだけでなく地域の方やご縁のある方、そして受念館にご入居の皆さんも、共に「生きること」を学ぶ場所となっております。

5月からは「生きことを学ぶ会—医療と仏教の交差点で”いのち”の声を聞く」(第1回は5月23日(土)14時から)が始まります(原則第3土曜日)。

3) 「受念寺法語掲示板」のプリントを毎月発行

受念寺では先代の頃より、毎月掲示板に法語を掲げておりますが、その法語にちなんだエッセイを掲載したプリントを毎月作成することにしました。

3) 毎月第4土曜日 おあさじ(朝のおつとめ、晨朝法要)を再開

これまでおあさじが休止していましたが、本年1月より、毎月第4土曜日朝7時半から、朝のおつとめを行っています。

4) 受念寺ホームページの作成

受念寺からのご案内や、法語掲示板のエッセイ掲載、各種法要のご案内、受念寺の歴史、受念寺へのアクセスなどが閲覧できるページを作成いたしました。(「受念寺」で検索してみてください。)

5) 行事の準備へのご門徒の参加

寺院は住職個人の持ち物ではなく、ご門徒の皆さまとともに運営し、育まれるものであると受けとめています。

昨年の報恩講では「準備会」を開催いたしました。お寺での行事の準備や運営について、積極的に関わっていただきやすいようにしたいと思っております。

その他にも、『正信偈』唱和の練習会、映画上映会、お子さんが参加できるイベントなど、いろいろなことを計画しております。

2. 設備面の取り組み

現在行っている設備面の取り組み、及び今後の計画をお知らせします。

1) 受念寺正面壁の塗装

今回の法要に合わせて、老朽化しておりました受念寺正面壁を塗装しなおしました。

2) バリアフリー化

段差に手すりをつけるなどバリアフリーを進めます。

3) 受念寺入口の扉を開放的に

現在の入口は、中が見えない扉で入りにくいのではないかとのご指摘があります。入

りやすい雰囲気作りの一環として入口扉を新しくする予定です。

4) 納骨堂の開設

現在の墓石型の納骨堂に加え、費用の負担の少ない納骨堂を開設する予定です。

5) 学びのデイサービス「みのり庵」(仮)の開設

ご門徒様よりご寄進いただいた旧家屋を改装して、他にないデイサービスを開設することを計画しています。

昨今、レクリエーションや脳トレなどを楽しんだり、鍛えたりという場所はよくありますが、そのような「娯楽」や「能力」を中心に据えるのではなく、「豊かさ」を中心に据えて、生きる上で有意義な学びや、豊かな文化に触れられる場所を提供できる場所を目指します。できないことを訓練するというよりは、自己や世間との関係を確かめ、仏教の智慧のもとで、地に足が着いた実りある生活ができる場所を目指します。

*それぞれについて、資金面でご協力をお願いすることがあるかもしれません。趣旨にご賛同頂ける場合には、どうかよろしく願いいたします。

3. ご門徒の皆さまとのつながり

お寺とご門徒の皆さまのつながりだけでなく、皆さまの横のつながりも大事にすべく、集まれる機会を多く持ちたいと思っております。もちろんそれぞれの事情があり、積極的に関わるのは難しいかたもあるかと思っておりますので、無理のない範囲で結構ですので、よろしく願いいたします。

昨今スマートフォンが普及し、LINEをご活用のかたも多いかと思っております。そこで「受念寺のLINE掲示板」と「受念寺公式LINE」を作成いたしました。下のQRコードよりご参加いただけます。

「受念寺のLINE掲示板」は、友だち登録をしなくても案内が見られます。小さな集まりは、その都度ハガキでご連絡するのは難しいと思っておりますので、LINEを通じてお寺からのご案内をいたします。是非ご登録ください。大きな定例行事のご案内は、これまで通りハガキでもご案内いたします。

「受念寺公式LINE」はお参りのご依頼、時間変更など個別のご相談をしていただけます。こちらもご登録ください。もちろんこれまで通りお電話でも結構です。

それでは、今後とも皆さまのお力添えを、よろしく願いいたします。

●受念寺のLINE掲示板 ●受念寺公式LINE

(行事やイベントのご案内) (お参りのご依頼、時間変更など個別のご相談)



真宗大谷派(浄土真宗) 受念寺

☎ 06-6674-1135(代表)

✉ junenji.kishigami@gmail.com

🏠 <https://junenji.com>

📍 〒558-0055 大阪市住吉区万代5-17-25

